

岩国飛行場のF-35Bへの機種更新について

1. 経緯・現状

- 2013（平成25）年、日米「2+2」において、米海兵隊F-35Bの米国外における初の前方配備が、2017（平成29）年に開始されることを確認。
- 2017（平成29）年、岩国飛行場のFA-18ホーネット部隊とAV-8Bハリア一部隊が、F-35Bへ更新された。

2. 機種更新（概要）

- 今般、米側から、2020（令和2）年10月以降、岩国飛行場のFA-18ホーネット部隊が、F-35Bへ機種更新（2回目）を開始する予定である旨説明あり。
- 具体的には、2020（令和2）年10月以降、岩国飛行場のFA-18ホーネット2個部隊のうち、1個部隊（約12機）をF-35B（約16機）へ、段階的に機種更新するもの。
- また、機種更新されるこのFA-18ホーネット部隊は、米軍の部隊交代計画を踏まえ、米本土へ移駐する。
- ただし、新型コロナウイルス感染症の関係で、F-35Bへの機種更新の開始・終期の時期やFA-18ホーネット部隊の米本国への移駐時期等について、米側内部で調整中。

